

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

⑦ 物産品販路開拓・拡大

- 北陸新幹線福井開業に向けた誘客促進と圏域の特産品の認知度向上を目的として、首都圏で、2~4週間ほどずつ会場を変えて展開する期間限定のアンテナショップを設置。
- 羽二重餅や水ようかん、油あげ、ゴマ豆腐、越前そばなど、福井の食や圏域市町の名産品約100品目の販売をはじめ、福井の旬の情報をお届けした。

＜アンテナショップ会場＞

新宿マルイ、大宮マルイ、マロニエゲート銀座 | 武蔵小杉東急スクエア、吉祥寺マルイ



【アンテナショップ（新宿マルイ）】

⑨ 農林水産物特産品販路拡大

- 国内市場の縮小を見据え、シンガポールに向けた「ふくいブランド」の発信事業を展開。現地の一般人を対象に料理教室やライブコマースを実施するなど、海外販路開拓の強化に取り組んだ。
- 地産地消の推進を目的として「越前ふくいマルシェ」を開催。8千人を超える来場者に対し、圏域内の農林水産物や、地元資材を使った体験ワークショップ等を提供し、農林水産業に対する理解の醸成を図った。
- 首都圏への販路開拓及び福井の食材のPRを目的として「福井美食フェア」を開催。和洋中のレストランからバーやカフェなど、首都圏の87店舗で、圏域内の農林水産物や地酒などを使用したオリジナルメニューを提供した。



【シンガポール料理教室】 【越前ふくいマルシェ】 【福井美食フェア】

⑬ 広域観光情報発信

- 北陸新幹線福井開業に向け、ふくいの認知度向上及び誘客拡大を促進するため、県の観光PRキャラバン（上野駅・長野駅・大宮駅）に圏域市町が連携して参加した。【観光PRキャラバン(大宮駅)】



⑯ 外国人旅行者向け情報発信

- 北陸新幹線福井開業や「大阪・関西万博」等に向けたインバウンド推進のため、外国人の目線から魅力的に映る圏域内の観光素材を盛り込んだ観光パンフレットを制作。
- 昨年度の英語版、仏語版に引き続き、新たに繁体語版(台湾)、簡体語版(中国)を制作し、主要観光地をはじめ、ホテルやレンタカー事業者、県の東京、大阪、京都、名古屋の各事務所等へ配布した。



【インバウンド用パンフレット(繁体語版)】

(2) 高次の都市機能の集積・強化

⑰ 公共交通ネットワーク構築

- 北陸新幹線福井開業に向け、二次交通の充実と地域公共交通機関の利用促進を図るため、ふくいMaaSアプリを本格導入。
- ふくアプリと連携し、福井県版地域デジタル通貨「はぴコイン」を利用した電子企画切符の販売や、複数の交通機関をスムーズにつなぐ経路検索などの交通関連機能を導入した。



【ふくアプリとふくいMaaSの連携(イメージ)】

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

⑭ 環境啓発・教育

- 環境保全意識の更なる向上を図るため、圏域内の学校や団体、事業者等が実施する環境講座へ、環境アドバイザーを派遣。
- 圏域市町内の各種団体の多様なニーズに応じたアドバイザーの広域派遣により、環境に関する知識の拡充を図った。

＜環境アドバイザー登録者数＞ 48人
＜派遣実績＞ 40件



【アドバイザー派遣】

【草木染め体験】

【木材工作体験】

⑮ 除雪力向上広域連携ネットワーク形成

- 連携市町の一部で先行導入していた除雪車位置情報システムについて、メリットや圏内住民への広域的な道路情報提供の必要性を共有し合い、県の補助を活用することで、連携全市町でシステムを導入。
- 除雪車が通った路線や除雪後の経過時間など、最重点除雪路線等の主要路線における連携市町の除雪状況は、県のホームページ「みち情報ネットふくい」で閲覧することができる。



【みち情報ネットふくいHP】

